

2 充実した人生を送るための生涯学習の推進

- 1 姉妹都市交流事業
- 2 家庭教育推進事業
- 3 青少年健全育成事業
- 4 二十歳の式典開催事業
- 5 市美術展開催事業
- 6 男女共同参画推進事業
- 7 文化財保存調査事業
- 8 ネブタ流し継承事業
- 9 ディスカバー「滑川」ふれあい事業
- 10 ふれあいのバス派遣事業
- 11 社会教育活動総合事業
- 12 郷土芸能活性化事業
- 13 心豊かなまちづくり推進事業
- 14 地区公民館活動推進事業
- 15 図書館管理事業
- 16 図書館運営事業
- 17 子ども図書館管理運営事業
- 18 本とのふれあい推進事業
- 19 博物館管理事業
- 20 博物館運営事業
- 21 展覧会等開催事業
- 22 青志会館管理運営事業
- 23 働く婦人の家管理運営事業
- 24 文化芸術振興事業
- 25 なめりかわ未来学校事業

事業名		姉妹都市交流費	担当部署		生涯学習・スポーツ課	
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	02	総務費
	政策	生涯学習の充実		項	01	総務管理費
課組織目標				目	01	一般管理費
根拠法令等						

事業の対象
誰・何に対して
市内の児童

事業の目的と達成度
意図(対象をどのようにしたいか)
姉妹都市豊頃町の少年親善使節団を受け入れ、互いの郷土のよさを紹介し合い、友情と相互理解を図ることを通して、滑川市への愛着を深める。

事業の内容と活動量
手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
姉妹都市交流事業では、滑川市内での活動と一緒に行うことで友情を育んだ。
また、互いの郷土のよさや違いを伝え合うことを通して相互理解を図るとともに、郷土のよさを見つめ愛着を深めた。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
豊頃町からの少年親善 使節団の数(児童)	人	目標	—	—	14	—	14
		実績	-	-	15	-	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
豊頃町少年親善使節団 の訪問回数		回	計画	—	—	1	—	1
			実績	-	-	1	-	
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額						196		303
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源					196		303

個別評価		
評価の視点	評価	評価理由
必要性	低い	豊頃町以外の姉妹都市からは受け入れておらず、継続していく必要性は低い。
有効性	やや高い	豊頃町と滑川市の互いの良さを学ぶことにより、滑川の良さを再発見するとともに、認め合う心等も学び、互いの絆が深まる。少子化の中、多くの児童に参加いただいている。
効率性	やや高い	必要な内容やスケジュールについて、豊頃町との連携を図り、実施している。

総合評価	
評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	D

事業の課題
参加対象が限られる中、特定の姉妹都市に対してのみ事業を継続することは、理解を得られにくい。

今後の方向性			
成果の方向性	統廃合	投入コスト	皆減

評価を踏まえた見直し内容	
事業の課題に対する取組状況	豊頃町の担当者と調整した結果、双方の負担も多いことからホームステイは実施をしないこととしたが、事業自体の廃止についても検討していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

391

事業名		家庭教育推進費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	青少年健全育成・地育地生の推進		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
子どもをもつ親

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
家庭教育の大切さを伝え理解してもらい、子育ての悩み等を話し合うことで、自信をつけたり、家庭教育に積極的に参加してもらったりする。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
家庭教育の大切さを伝え、理解してもらうことを目的とした「子育て講座」を小学校に入学する児童の保護者を対象に開催した。
また、学習参観日等に講師を派遣し、保護者を対象に「親を学びつたえる学習プログラム」を利用したグループワークを取り入れた「親学び講座」を小中学校で開催した。平成24年度から幼稚園・保育園等から希望する園で「親学び講座」を実施している。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
親学び・子育て講座参加者数	人	目標	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績	781	697	587	533	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
子育て支援・親学び講座開催数	回	計画	18	20	20	20	20
		実績	18	18	18	18	
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額			165	172	143	169	227
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		165	172	143	169	227

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	近年核家族化、児童虐待問題等で家庭教育の必要性は高まっており、行政が主体となり実施すべき事業である。
有効性	高い	新たな環境でストレスを感じる親や子供達も多く、情報交換は有意義である。
効率性	やや低い	親学び講座でもグループで対話する形式を取り入れ、活発な発言が見られた。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

今後の子育て講座や、親学び講座の参加者の増加や開催内容、方法を検討していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	各講座は、グループワーク、講座形式など、各校(所・園)の実情や希望に合わせて、工夫しながら開催している。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

事業名		青少年健全育成事業費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	青少年健全育成・地育地生の推進		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
児童、生徒、青少年

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
滑川市の青少年が、犯罪に巻き込まれず安全に、健全に成長していくよう、地域で連携して見守っていく。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
少年補導センター、青少年育成滑川市民会議などの団体と連携し、挨拶運動や体験活動を行っていく中で、青少年の健全育成を図った。
少年補導センターは、犯罪や非行の抑止力として街頭の巡回補導を行った。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
少年補導件数		件/年	目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	
根拠								0
0		0	目標	0	0	0	0	0
			実績					
根拠								0

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
補導員活動日数(延べ)	回	計画		150	150	150	150	150
		実績		124	130	148	129	
	0	0	計画	0	0	0	0	0
			実績					
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				262	247	293	251	330
財源内訳	国県支出金			0	0	0	0	0
	地方債			0	0	0	0	0
	その他			0	0	0	0	0
	一般財源			262	247	293	251	330

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	青少年の健全育成は市にとって重要な課題であり、必要な事業である。
有効性	高い	青少年の健全育成は市にとって重要な課題であり、有効な事業である。
効率性	やや高い	最低限の費用で活動を行っており、費用対効果の面では問題はない。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

巡回補導においては、子どもが少なくなっており、巡回補導に出ても会う機会が少なくなっている。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	巡回補導の開催時期や内容を検討している。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

396

事業名		二十歳の式典開催費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
二十歳を迎える市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
一人一人を祝福し、成人となった自覚を促すとともに、滑川市への愛着を育む。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
新たに二十歳を迎える若人の前途を祝福するとともに、新二十歳の代表が実行委員となり、社会人としての自覚と誇りを促すために二十歳の式典を実施した。 成人のしおりに滑川市の魅力を掲載した。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
参加率	%	目標	80	80	80	80	80
		実績	81	77	80	76	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
周知回数 (案内状含む)	回	計画	6	6	6	6	6
		実績	6	6	6	6	
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額			809	745	549	560	614
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		809	745	549	560	614

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	二十歳を祝い、社会人としての自覚を促すことは必要である。
有効性	やや高い	受付を市公式LINEにて実施し、二十歳を機会に市公式LINEでつながることとなる。
効率性	高い	内容については、二十歳の実行委員会で話し合い、必要最低限の経費で行われている。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

降雪のシーズンである冬場から、県内各市町村の動向を踏まえ、式典の開催時期を変更した。
--

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	令和8年度は、5月3日(日)に実施とするため、周知徹底に努める。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

397

事業名		市美術展開催費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	文化芸術の振興		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
美術を通じて市民の情操を豊かに育てるとともに、優秀作家を育成し、本市の芸術・文化の向上を図る。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
●高校生以上の全市民、在勤者、在学者、出身者等を対象とした、絵画、彫刻・工芸、書、写真の4部門にわたる公募展を開催した。
●市民等の創作作品を展覧することによって、「香り高い文化のまち」を目指し、芸術・文化の振興に努めた。
●富山県を代表する作家に審査員を委嘱し、審査会・講評会等を通じて優秀作家の育成を図った。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
入場者数		人	目標	800	800	800	800	800
			実績	662	700	680	545	
根拠								
出品者数		人	目標	150	150	150	150	150
			実績	141	120	115	117	
根拠								

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
広報活動回数	回	計画		5	5	5	5	5
		実績		5	5	5	5	
		計画						
		実績						
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				549	542	544	545	595
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			549	542	544	545	595

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	「文化のまちづくり」を目指す本市にとって、市が主体となり市民芸術の創作発表、鑑賞の場を継続的に提供する必要性はやや高い。
有効性	やや高い	滑川市美術展は本市最大かつ最長の歴史を誇る公募型市民芸術祭であり、毎年出品する者が多くいる一方で、新規出品者も一定数見られる。また一定の入場者数も確保できている。
効率性	やや高い	出品資格や出品規格などの見直しを毎年行うことで効率的な運営ができていているものと思われる。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

指標となる入場者数及び出品者数は過去10年以上にわたってやや減少傾向が続く。数年前からSNSを活用した広報活動を行ったり、出品資格を緩和したりと数値の改善に努めているがいずれも目標未達となっている。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	SNSはフォロワー数が漸増しているため引き続き積極的な発信に努めたい。また出品資格緩和についても周知が徹底するように開催要項へ分かりやすく表記したい。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

401

事業名		男女共同参画推進事業費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	優しい滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	ダイバーシティが尊重される人に優しい社会の推進		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等		男女共同参画基本法、滑川市男女共同参画計画 ～第3次ときめき かがやき ひかりのプラン～				

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
滑川市男女共同参画計画に基づき、「ともに認め合い、支え合う、ひかり輝く社会の実現」を総合目標とし、男女共同参画推進事業を実施する。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①男女共同参画に対する正しい理解と認識を深めるため、男女共同参画推進員による啓発活動を実施した。
②男女共同参画に関する意識啓発と計画の周知のため、男女共同参画公開講座を実施した。(R6は雪の影響により中止)

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
家庭生活において男女平等 になっていると感じる人の割 合		%	目標	34	35	36	37	38
			実績	30	37	19	-	
根拠								
地域活動において男女平等 になっていると感じる人の割 合		%	目標	30	31	32	34	35
			実績	19	32	20	-	
根拠								

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
推進活動取組回数	回	計画		3	3	3	3	3
		実績		3	3	3	3	
		計画						
		実績						
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				609	609	680	617	778
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			609	609	680	617	778

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	今後の日本社会が発展するために、男女共同参画社会の実現は必須である。
有効性	やや高い	男女ともに、各方面で男女の役割についての意識が変わりつつある。
効率性	やや高い	啓発活動は、各地区の連絡会へ委託しており効率性は高い。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

事業の内容については、現在のような各地区に委託を中心としたやり方で良いか、推進員の人数も含めて検討していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	推進員の人数を1割程度減らすことを検討している。引き続き、今後の連絡会の在り方や、活動内容について検討している。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

事業名		文化財保存調査費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	文化芸術の振興		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等		文化財保護法、滑川市文化財保護条例、同施行規則、滑川市文化財保護調査委員会設置規則				

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
市民共有の財産である文化財を永く保存、継承していくとともに、新たな文化財を掘り起こし、市民に周知し積極的に活用していく。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①指定文化財他への指定等 市文化財保護調査委員会・同調査審議会を開催した。
②市有文化財を保存・管理した。 史跡・天然記念物
③市民へ文化財を啓発及び活用した。
④開発に伴う埋蔵文化財の調査を行った。
⑤文化財の掘り起こしを行った。 古建築調査ほか
⑥立山黒部ジオパークを周知した。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
指定・登録等文化財件数	件	目標	55	55	55	55	55
		実績	52	52	52	53	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
市文化財保護調査委員会の開催		回	計画	2	2	2	2	2
			実績	2	2	2	2	
市文化財調査審議会の開催		回	計画	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1	
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				2,734	769	884	2,535	3,150
財源内訳	国県支出金						1,500	1,500
	地方債							
	その他							
	一般財源			2,734	769	884	1,035	1,650

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民の共有財産である文化財を恒久的に守り伝えていくために、市が主体となって保存・活用に関わり、積極的な発信を行う必要がある。
有効性	高い	既存文化財の保存・活用に加えて、新たな文化財を掘り起こす調査・研究やその成果発信を行っており、有効性は高いと思われる。
効率性	やや高い	指定文化財の保存事業を中心としながら限られた予算内で優先順位を付けて未指定文化財の調査・研究を実施している。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

社会環境の変化や自然災害等の影響により急速に失われゆく未指定文化財が多く見られるなかで、現在の予算規模や人員配置では十分な保存・調査事業が行えていない。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	緊急性の高い文化財から順に保存・活用、調査・研究事業を進めていく方針で、継続事業の古建築調査に加えて令和6年度から埋蔵文化財分布調査を実施している。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

404

事業名		ネブタ流し継承事業費	担当部署		生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計 01	一般会計
	政策基盤			款 10	教育費
	政策	文化芸術の振興		項 04	社会教育費
課組織目標				目 01	社会教育総務費
根拠法令等					

事業の対象

誰・何に対して
全市民、ネブタ流し保存会及び参加団体

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
国指定重要無形民俗文化財の保存継承のために、市民と行政が一体となって方策を講じ、推進していく。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①保存継承団体の組織強化 主体的活動の運営支援と補助金を交付した。 ネブタ流し参加団体への新規参加を促進した。
②担い手育成・普及活動 寺家小学校での製作伝習活動を行った。
③団体間の交流 研修会等を開催した。
④ネブタ流しの材料の確保 ワラの確保を行った。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
ネブタ流し参加基数	基	目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12	10	10	10		
根拠								
寺家小学校児童参加者数	人	目標	40	40	40	40	40	40
		実績	56	65	80	82		
根拠								

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
ネブタ流し 広報活動回数		回	計画	6	6	6	6	6
			実績	5	5	7	7	
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				283	280	278	199	317
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			283	280	278	199	317

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	国指定重要無形民俗文化財を存続させるため、活動を行っている保存会構成団体への補助、行事のPRといった協力が強く求められている。
有効性	高い	滑川を代表する民俗行事である「滑川のネブタ流し」を継承していくことは、市民の郷土愛の醸成につながり、「ふるさと教育の推進」を掲げる本市の施策にも合致する。
効率性	やや低い	保存会結成当時と比べ、参加団体数・基数ともに増加している。保存会の協力も得て、近年は安定した参加が見られており、事務局として携わる市の負担を削減する余地がある。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	C

事業の課題

国指定重要無形民俗文化財として、継承していく必要がある。本市を代表する民俗行事であるが、参加団体によっては高齢化等によって参加人員の確保が難しく、長年の課題となっている。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	減額
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	滑川のネブタ流し保存会事務局で行事全般の取りまとめ、薬材の確保を行い、寺家小学校児童への伝習活動の支援等を行っている。保存会の打ち合わせ会を継続的に開催することで、構成団体同士の情報の共有や意見交換を促し、保存会全体の活性化を目指していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	事務局が負担している打合せ会合に係る経費削減を検討

事業名		ディスカバー「滑川」ふれあい事業費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	青少年健全育成・地育地生の推進		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
全小中学生

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
地域と連携しながら、ふるさと滑川を普段とは異なった視点で見つめることにより、郷土を愛し、主体的に判断し行動する能力を身に付ける。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①学校地域交流事業では、市内小中学校の児童会や生徒会が中心となり、地域清掃、募金活動、エコキャップ回収などのボランティア活動や、あいさつ運動、地域の方々とのふれあう活動を通して、相手を思いやる心を育むことを目指した。
②小中学生とその保護者を対象に、滑川の自然・文化・歴史に関する体験活動を実施することで、滑川市を再発見してもらった。
③郷土偉人の業績を学ぶことができる行事を開催した。
④なめりかわ未来学校では、子供たちに探究的な学びの機会を提供することで、社会参画意識を育むことを目的とし実施した。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ふるさと探検事業参加者数	人	目標	100	100	100	100	100
		実績	80	84	80	61	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ふるさと探検事業開催日数	日	計画	4	4	4	4	4
		実績	4	4	4	3	
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額			669	723	468	366	594
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		669	723	468	366	594

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	ふるさと滑川を愛する心を涵養するために必要である。
有効性	やや高い	事業参加者には、ふるさと滑川を深く知ってもらうよい機会になっている。
効率性	高い	学校や各施設の協力のもと市が直接実施している。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の問題

事業によっては応募者が多く先着順で定員に達してしまい、参加できない方がいる。
--

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	事業の実施時期や内容を見直し、可能な限り参加してもらえる方法を検討している。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

407

事業名		ふれあいのバス派遣事業費	担当部署		生涯学習・スポーツ課	
政策 体系	政策の柱	輝く滑川	予算 科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
市内の小学生

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
滑川市の将来を担う児童が、姉妹都市豊頃町の雄大な自然と人々の暮らしに接し、互いの郷土のよさを紹介し合うことで、友情と相互理解を深めるとともに、郷土への愛着を育む。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
ふれあいのバス事業では、豊頃町へ訪問し豊頃町の児童と一緒に豊頃町の自然や文化に接することで、姉妹都市との絆を深めた。
また、体験を通して、滑川のよさを再認識できるように、交流会前後に学習を行った。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
参加者数	人	目標	—	20	—	20	—
		実績	-	-	-	20	/
根拠							
		目標					
		実績					/
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
実施回数	回	計画	—	1	—	1	
		実績	-	-	-	1	/
		計画					
		実績					/
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額			156	723		1,956	
財源 内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他					600	
	一般財源		156	723		1,356	

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	姉妹都市との交流は重要であり、北海道の雄大な自然に触れる機会は貴重であり、子供たちの将来の財産となる。
有効性	やや高い	実際に豊頃町を訪れ、豊頃町と滑川市の互いの良さを学ぶことにより、滑川の良さを再発見するとともに、認め合う心等も学び、互いの絆が深まる。
効率性	低い	保護者の負担が多くホームステイがなくなったことや、短期間で周遊する日程のため交流を深めることが難しい。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	D

事業の課題

参加対象の人数に限られることや、特定の姉妹都市に対してのみ事業を継続することは、理解を得られにくい。

今後の方向性

成果の方向性	統廃合	投入コスト	皆減
--------	-----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	豊頃町の担当者と事業廃止について検討していく。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

411

事業名		社会教育活動総合事業費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	02	公民館費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
いつもで、どこでも、誰もが、自ら気軽に学び続け、学んだことを生かして地域で活躍するなど、生涯学習を通じた生きがいや喜びを育む。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①各分野で活躍中の郷土ゆかりの講師を招き、市民が最新情報に触れることができ、郷土愛を育むことができる講座を開催した。
②生涯学習センターを中核として、60歳以上の方々がふれあいを通し、自らの生活の中に生きがいを見いだせる教養講座やレクリエーション教室、野外活動教室等を開催した。また、一般市民向けに書道、油絵、陶芸、詩吟の実技講座を開催した。
③市民向けに生涯学習に関する便りを発行し、全戸配布することで、生涯学習活動の紹介等の広報活動を行った。
④情報を集め、新しい講師の人材発掘に努めた。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
生涯学習講座登録者数	人	目標	850	850	850	850	850
		実績	638	667	624	719	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
福寿大学開催日数	日	計画	14	14	20	20	20
		実績	14	17	20	20	
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額			1,107	1,070	1,139	1,202	1,101
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,107	1,070	1,139	1,202	1,101

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	どの事業も生涯学習の充実のために必要である。
有効性	やや高い	各世代に対応した各種講座や講演会を定期的に開催したり、情報紙を定期的に発行したりしており、有効である。
効率性	高い	最低限の講師謝礼と印刷費等の予算であり、効率性は高い。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

事業の形骸化、マンネリ化防止、参加者増加の工夫をする必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	引き続き、受講者のニーズに合わせ魅力的な内容になるよう努める。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

412

事業名		郷土芸能活性化事業費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	文化芸術の振興		項	04	社会教育費
				目	02	公民館費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
全市民、保存団体及び後継者(小中学生)

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
地域に伝承される郷土芸能育成保存の姿勢から、関係団体と連携を図り、行政が一体となり、保存伝承の方策を講じる。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)							
指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
舞踊の伝習会	回	目標	30	30	30	30	30
		実績	30	30	30	30	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①保存継承団体の運営支援、補助金を交付した。
②後継者育成のために、小中学生対象の伝習活動を実施した。
③発表会等の実施支援を行った。

活動指標(どの程度手段を実施したか)							
指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
伝習訪問校	校	計画	9	9	9	9	9
		実績	9	9	9	9	9
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額			644	680	688	679	768
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		644	680	688	679	768

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	どの事業も伝統芸能を継承し活性化していくためには必要である。
有効性	やや高い	直接小中学生に踊りを伝承しており、ほぼ全ての方が踊れることから有効である。
効率性	高い	最低限の講師謝礼と消耗品等の予算であり、効率性は高い。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

踊りだけでなく、唄、三味線も伝承されるよう支援が必要である。 講師の高齢化のため、講師の後継者の確保が必要である。
--

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	授業で踊りの伝承を行っており、音楽で三味線の体験学習に取り組む学校もある。 講師の方から後継者の候補を伺い、現状の周知と依頼をし人材の確保に努める。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

事業名		心豊かなまちづくり推進費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	02	公民館費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
①世代間の交流を促進し、地域の絆や教育力の向上を図る。
②ふるさと滑川の自然・歴史・文化に対する理解を深め、ふるさとへの誇りと愛着を育む。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①地区公民館において、地域の人材を活かして多世代のふれあい活動及び各種教養教室を実施した。
②各地区公民館において、様々な年代が一緒に参加できる、地元の自然、文化、歴史を学ぶ「ふるさと講座」を実施した。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
「ふるさと講座」参加者数	人	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績	1,255	1,591	2,121	2,248	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
ふるさと講座実施回数	回	計画	18	18	18	18	18
		実績	22	25	23	23	
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額			1,336	1,350	1,350	1,350	1,350
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		1,336	1,350	1,350	1,350	1,350

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	ふるさと滑川について、身近な地区公民館を通して学ぶ機会であり必要である。
有効性	高い	地元の歴史や文化に触れ、ふるさと滑川の良さを再発見するよい機会である。
効率性	高い	各地区公民館へ事業を委託しており、効率的である。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

世代間で参加できる企画など、地域の人々がつながりを実感できるよう、より良い活動を実施していく必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	公民館指導員の定例の会議をととして、各地区公民館にて工夫している行事の情報交換に努める。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

414

事業名		地区公民館活動推進費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	02	公民館費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）
地区公民館を中心とした地域コミュニティの形成を推進するため、多世代のふれあい活動、各種講座等の地域における公民館活動を支援する。

事業の内容と活動量

手段（事業の内容・目的達成に向けた取組み）
①地区公民館において、公民館まつり、住民運動会、各種レクリエーション、講座等を実施した。
②地区公民館の管理にかかる費用を支出した。
③地区公民館実施事業参加者及び公民館職員に対する保険に加入した。

成果指標（どの程度意図が達成されたか）

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
地区公民館利用者数	人	目標	80,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	51,636	47,205	51,377	50,494	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標（どの程度手段を実施したか）

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
コミュニティづくり推進事業取組件数		回	計画	45	45	45	45	45
			実績	27	40	40	59	
			計画					
			実績					
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				27,873	29,087	31,435	37,288	38,889
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			27,873	29,087	31,435	37,288	38,889

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	地区公民館を中心としたコミュニティの形成は近年重視されており、必要である。
有効性	高い	市民のニーズに応じた内容になるように心がけており、有効である。
効率性	高い	コミュニティづくり推進事業は、地区公民館へ委託しており、効率的である。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

公民館職員を対象としたデジタル対応の研修会を実施しており、その成果において、地域住民にとって有益なものは活用していく。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	県の公民館deつながる事業などを活用し、デジタルを活用する公民館を増やしていく。
新年度の予算要求事項（改革・改善案）	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

419

事業名		図書館管理費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	03	図書館費
課組織目標						
根拠法令等		滑川市立図書館条例、滑川市立図書館条例施行規則				

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
利用者が安心、図書館を積極的に快適に利用できるよう適切な施設管理を行う。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
屋上や外壁など適切に修繕を行い、利用者が安心して利用できるよう図った。
館内をこまめに巡回し、蔵書や備品等の整理・整頓に努めるとともに、来館者全員が快適に利用できるよう、利用マナーを促進した。
清掃、消毒、換気を徹底し、感染症予防に努めた。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
来館者数	人	目標	120,000	130,000	150,000	150,000	150,000
		実績	102,548	100,064	100,641	101,549	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
開館日数	日	計画	297	297	297	297	297
		実績	294	290	293	291	
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額			13,484	14,120	14,546	25,465	25,332
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		13,484	14,120	14,546	25,465	25,332

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	市民の知的財産を保全活用する生涯学習施設として、利用者が安全・安心に利用できるよう管理・整備を継続することが必要である。
有効性	やや高い	維持管理について、必要最小限の経費でできるよう努めている。
効率性	やや高い	照明機器のLED化を実施し、省エネルギー化に努めているところである。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

建築からまもなく50年が経過するため、館内設備の随所に老朽化が進行し、修繕が必要な箇所が増加傾向にある。利用者が安全に快適に当施設を利用できるよう遅滞なく修繕を行い、施設の維持管理に尽力する必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	全館の照明機器を対象に、LED照明へ更新工事を実施している。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	・LED照明機器更新工事の残り実施。 ・雨漏り対策工事、アルミサッシ修繕、ブラインド更新、駐輪場修繕、駐車場再舗装など、施設老朽による改修が早急に必要。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

420

事業名		図書館運営費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	03	図書館費
課組織目標						
根拠法令等		滑川市立図書館条例、滑川市立図書館条例施行規則				

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
より利用しやすく親しみやすい図書館を目指し、利用者の増加を図るとともに、市民の生涯学習を推進する

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①来館者数の増加 ・喫茶コーナーをPRした。 ・ミニコンサートを開催した。
②利用者の利便性向上 ・利用者層を考慮し、ニーズに合わせた資料の充実 特集コーナーを設置し、利用者へのPRを行った。 ・リクエストの積極的に対応した。(資料購入、相互貸借)
・レファレンス能力を向上させ、市民の「知りたい」に答えられるようにした。

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	市民の知的財産の保持という大事な使命があるだけでなく、ますますニーズが高まる生涯学習の充実や、地域の課題解決、読書文化の向上のために大切な役割がある。
有効性	やや高い	図書利用だけでなく、図書館カフェやミニコンサートなどの付帯サービスも好評であり、来館者の増加や利便性に寄与していると思われる。
効率性	やや高い	省資源化など、コスト削減に努めるとともに、夕刻時間帯の来館者数を記録し、利用者利用ニーズの把握に努めている。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	・1階、2階フロアに映画やドラマ化された本を展示するほか、時節に応じた特集を組むなどをして、貸出冊数の増加に取り組んでいる。 ・青少年向け図書を積極的に購入し、4階学習室前廊下に展示するなどして、貸出冊数の増加に繋げる対策に取り組んでいる。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	・資料購入費の増加 ・電子図書館サービス導入 ・新聞データベース導入

成果指標(どの程度意図が達成されたか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
市民1人あたりの貸出冊数	冊/人	目標		5	6	7	8	8
		実績		5	5	5	5	
根拠	第5次滑川市総合計画(R7年度:10冊)							
		目標						
		実績						
根拠								

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
リクエストサービス	冊	計画	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績	752	545	627	651		
レファレンスサービス	件	計画	50	50	50	50	50	50
		実績	92	141	150	221		
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				15,602	15,101	17,669	18,317	19,350
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他			680	710	748	916	680
	一般財源			14,922	14,391	16,921	17,401	18,670

事業の課題

・市民1人あたりの貸出冊数及び来館者数が伸び悩んでいる。特に若年層の貸出冊数が少ない。 ・利用者ニーズを踏まえながら資料及び雑誌を充実させるための対策が必要。
--

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

421

事業名		子ども図書館管理運営費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	03	図書館費
課組織目標						
根拠法令等		滑川市立図書館条例、滑川市立図書館条例施行規則				

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
より子どもたち・保護者に親しまれる子ども図書館を目指し、利便性を向上させ利用者の増加を図る。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
子ども図書館は、すべての子どもに読書の喜びと大切さを伝える場として、より多くの子どもたち・保護者に親しまれ、利用していただくよう、積極的にPRし、利用者の増加を図った。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
来館者数	人	目標	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
		実績	31,394	29,920	31,516	34,766		
根拠								
授業に必要な図書の利用冊数	冊	目標	600	600	600	600	600	600
		実績	849	598	707	498		
根拠								

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
出張おはなし会・出前講座	回	計画		10	10	10	10	10
		実績		18	15	20	22	
蔵書数	冊	計画		36,000	36,000	36,000	36,000	36,000
		実績		37,075	38,171	39,505	40,439	
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				7,346	7,693	8,393	8,514	9,441
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他				250	150		
	一般財源			7,346	7,443	8,243	8,514	9,441

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	図書館は社会教育機関という位置づけがされており、市民の生涯学習や情報収集の場として不可欠である。
有効性	高い	図書館資料を通じた親子のふれあいの場、子育て支援施設として役割を果たすこととなり有効である。
効率性	高い	必要最低限のコストでの運営に努めている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

図書館資料を通じた親子のふれあいの場として、より魅力的な施設になるよう努める。また、子育て支援施設として、他施設との連携を進めていく。更なる施設利用の増加、貸出冊数増加に繋がるよう、PRに努める。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	より子どもたち・保護者に親しまれる子ども図書館を目指し、出張おはなし会、出前講座等を実施しPRに努め、利用者増加に繋がるよう取り組んでいる。また他の子育て支援施設事業の見学や情報交換を実施し、連携のあり方や、事業の改善に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

422

事業名		本とのふれあい推進事業費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	03	図書館費
課組織目標						
根拠法令等		滑川市立図書館条例、滑川市立図書館条例施行規則				

事業の対象

誰・何に対して
市内のこどもたち(主に乳幼児～中学生)とその保護者

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
こどもと親が集い交流する場として、にこにこたいむ(ふれあいあそび)、子育て支援講座、おはなし会、ワークショップ等、本を通じた子育て支援事業を実施し、出産・育児をしやすい環境を整える。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
○子育て支援 ・子育て支援講座を開催した。(年5～6回) ・子育て相談 子ども図書館職員(保育士)が対応した。 ○イベント開催 ・おはなし会(週1～2回)(職員・ボランティア・おはなし会グループ) ・絵本・紙芝居の読み聞かせを行った。 ・子ども映画会(月1回) ・DVDを上映した。(職員・ボランティア) ・おたのしみ会(年4回程度) ・人形劇・ミュージカル等を開催した。 ・工作コーナーを設けた。(毎週土日) ・読書週間イベントを開催した。(年2回) ・ワークショップを開催した。 ・作品展 市内保育園(所)・幼稚園児、中高生の作品を展示した。 ・ブックスタート事業を実施した。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
子育て支援講座・おはなし会等イベント参加者数	人	目標	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
		実績	6,081	6,868	8,478	7,943	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
子育て支援講座開催回数	回	計画		6	6	6	6	6
		実績		5	6	10	9	
各種イベント開催数(おはなし会・おたのしみ会・ワークショップ等)	回	計画		230	230	230	230	230
		実績		241	251	257	247	
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				1,068	640	712	450	2,231
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他			530	30	43	30	30
	一般財源			538	610	669	420	2,201

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	子育て支援を行う施設の柱として本を通じた子育て支援事業を実施する事は重要である。
有効性	高い	こどもたちが本と親しむ様々なイベントを企画し実施している。
効率性	高い	必要最低限のコストでの運営に努めている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

図書館資料を通じた様々なイベントを企画し、より利用者にあった活動内容となるよう努める。 また、日頃の図書館サービス、子育て支援サービスの向上に努める。
--

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	従来のイベントに加え、当館開館10周年にちなんだイベントの実施や、図書館資料に連動した体験型のイベントの実施をとし、絵本をはじめとした図書館資料の持つ魅力を伝え、図書館サービスの向上に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

事業名		博物館管理費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	文化芸術の振興		項	04	社会教育費
				目	04	博物館費
課組織目標						
根拠法令等		博物館法、滑川市立博物館条例、同施行規則				

事業の対象

誰・何に対して
市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
市民が安全かつ快適に博物館施設を利用できるようにする。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
博物館利用者数		人	目標	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
			実績	12,119	12,384	16,195	13,984	
根拠								
		目標						
		実績						
根拠								

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①施設の維持管理を行った。 電気・水道・燃料等 設備の保守点検等
②不具合箇所を修繕した。

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
開館日数	日	計画		305	302	307	305	305
		実績		304	303	308	308	
		計画						
		実績						
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				10,790	12,197	14,536	14,430	48,415
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			10,790	12,197	14,536	14,430	48,415

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	本市の芸術文化活動振興の拠点となる施設であり、維持・管理は必要不可欠である。
有効性	やや高い	現状、設備維持に必要な最低限の修繕しか行えていないが、不特定多数の方が訪れる施設であり、安全な施設運営のために整備・修繕は不可欠である。
効率性	やや高い	可能な限り業務委託を行い効率化を図っている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

建築から30年以上が経過し、老朽化が進んでいる。館内設備に要改修・修繕箇所が多く、給水用のポンプが故障するなどの突発的事態も発生している。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	館内照明のLEDへの切替工事等、設備の更新に向けて取り組んでいる。また、故障によって緊急的に休館などの措置を取らなければならない事態も想定されることから、故障する前に部品交換を行うことも検討し、設置から年数が経過している箇所を洗い出すなどして、必要な予算措置を行う。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

425

事業名		博物館運営費	担当部署		生涯学習・スポーツ課	
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	文化芸術の振興		項	04	社会教育費
				目	04	博物館費
課組織目標						
根拠法令等		博物館法、滑川市立博物館条例				

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
美術・芸術団体等の成果を発表する機会の提供及び博物館の企画展以外の事業(教育普及・広報活動・調査研究等)を行う。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
①常設展を運営した。 ②各種共催展等を開催した。 ③教育普及活動を行った。 出前講座(小学校等)、出講等講師派遣(一般) ④広報活動を行った。 ⑤資料・作品を受け入れた。 ⑥博物館カフェを運営した。 ⑦夕焼けコンサートを開催した。 ⑧博物館友の会活動を行った。

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	市民が取り組む芸術文化の発表機会の提供、郷土文化や歴史の調査研究活動及び教育普及活動についても市が継続的に行い、積極的な広報活動等を通じて発信していくことの価値や必要性は非常に高い。
有効性	高い	小学校、社会教育施設、町内会をはじめとした各種団体に対して、調査・研究成果に基づいた地域の歴史・文化や魅力について伝える活動を行っている。同種の活動を行っている類似施設・団体は市内になく、有効性は高い。
効率性	やや高い	限られた人員で運営しており、県内の類似施設・同規模館と比較しても費用対効果は決して低くない。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	縮小していた事業をできる限り早く元に復すように努めるが、人員数から新規事業の展開は難しい面があるため、既存事業の充実を図っていく。教育委員会事務局に学芸員が配置され、将来的に文化財行政が部分的にでも移譲されていくことが望ましい。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
常設展・共催展入場者数		人	目標	7,000	7,000	7,000	7,500	7,500
			実績	7,396	6,795	6,808	7,467	
根拠								
教育普及活動参加人数		人	目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績	1,628	1,798	2,563	1,862	
根拠								

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
美術協会・各連盟展の開催数		回	計画	4	4	4	4	4
			実績	4	5	5	5	
出前講座・出講等講師派遣回数		回	計画	19	19	19	19	19
			実績	26	28	26	35	
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				1,990	2,102	2,677	2,860	3,226
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他			334	300	513	598	400
	一般財源			1,656	1,802	2,164	2,262	2,826

事業の課題

令和6年度は学芸員が減員となり、事業を縮小せざるを得ない中で運営してきたが、令和7年度以降は立て直しを図る。ただし、文化財行政も担っているため、博物館行政への注力が難しい状況にあり、博物館行政と文化財行政の切り離しも考えなければならない。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

事業名		展覧会等開催費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	文化芸術の振興		項	04	社会教育費
				目	04	博物館費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
郷土の歴史や芸術・文化活動に関する興味・関心と理解を深めるため、郷土資料や優れた美術作品等に触れる機会を広く市民に提供することで、博物館活動に関心と理解を持っていただく。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
学芸員の専門性や調査成果、市民ニーズ等を反映した企画展を開催した。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
企画展入場者数		人	目標	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200
			実績	2,433	3,091	6,144	3,687	
根拠								
		目標						
		実績						
根拠								

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
企画展開催数	回	計画		4	4	4	4	4
		実績		5	6	7	5	
		計画						
		実績						
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				2,445	2,695	4,254	2,172	3,742
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			2,445	2,695	4,254	2,172	3,742

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	地域の歴史や文化、優れた芸術作品等の展示会を時宜を捉えながら開催していくことは、「文化のまちづくり」に資するものと考えられる。
有効性	やや高い	入場者数だけを指標にすると必ずしも有効性が高いと言えないかもしれないが、来場者の満足度は高い。また、展示成果がその後の教育普及活動等に資することも多く、相対的に有効性はやや高いと言える。
効率性	やや高い	県内の類似施設・同規模館と比べても、事業費や企画展開催数等から効率性は低くない。県内で唯一の人文・美術・自然科学分野を扱う総合博物館ということとを考慮すると効率性は高いと考えられる。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当	B
B:事業の進め方の改善の検討	
C:事業規模・内容・主体の見直しの検討	
D:事業の統合・休廃止の検討	

事業の課題

調査・準備期間を確保するために、中期的な事業計画を立案しているが、人的な制約や業務量から十分に取組んでいるとは言えない状況にある。成果については、即時性(入場者数)と将来性(成果の活用)のバランスを図っていく必要があるが、そのためには市民ニーズを的確に掴むとともに、広報手段の工夫を重ね、併せて学芸員の人材育成も必要である。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	令和6年度は学芸員が減員となり、予定していた特別展が開催できなかったため代替展示を行った。また令和7年度の特別展・企画展の内容・時期の変更等といった見直しを図り、影響を小さくするよう取り組んでいる。SNSでの発信を積極的に取り組みながら、博物館の広報活動を実践している。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

429

事業名		青志会館管理運営費	担当部署		生涯学習・スポーツ課	
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	青少年健全育成・地育地生の推進		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育施設費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
青志会館は、市民が仕事の後や余暇を利用して趣味や娯楽を楽しんだり、必要な知識や技術を学ぶための施設であり、また学童保育の実施場所となっている。たくさんの方に利用していただけるよう施設の整備や活動の支援を行う。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
従来からある各種教室やサークルの運営を維持し、新規の教室・サークルの募集を随時行っている。
気軽に施設を利用していただけるよう、周知を行った。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
利用者数	人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績	9,087	10,616	10,552	11,764	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
教養教室・サークル開講数	教室	計画	6	6	6	6	6
		実績	6	6	3	4	
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額			2,106	2,137	2,140	2,531	4,061
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		2,106	2,137	2,140	2,531	4,061

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	仕事の後や余暇を利用して趣味や娯楽を楽しんだり、必要な知識や技術を学んだりすることができる施設のため必要である。
有効性	やや高い	館内は、会議室、和室、調理室、多目的ホールがあり幅広い活動ができる。
効率性	高い	学童保育が実施されており、地域の社会教育施設として、生涯にわたる利用が期待できる。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

子供からお年寄りまで幅広い年齢層に利用される施設であることから、施設の安全面について点検、維持管理に努める必要がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	施設の維持管理に係わる修繕の年次計画をたてる。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

事業名		働く婦人の家管理運営費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	生涯学習の充実		項	04	社会教育費
				目	05	社会教育施設費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
働く女性及び勤労者家庭等の主婦

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
必要な知識・技能の取得や教養・憩い・レクリエーション等について場と機会を提供し、生活の向上や福祉の増進を図る。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
ゆったりヨガ、コーラス、手芸等の各種講座を開催した。 新しい講師の発掘を行った。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
働く婦人の家利用者数		人	目標	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
			実績	9,946	9,888	9,563	8,522	
根拠								
		目標						
		実績						
根拠								

活動指標(どの程度手段を実施したか)								
指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
教養教室開講数	教室	計画		20	20	20	20	20
		実績		18	20	18	18	
		計画						
		実績						
コスト(千円)				R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額				4,880	4,286	5,252	5,269	5,526
財源内訳	国県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源			4,880	4,286	5,252	5,269	5,526

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	毎年様々な教室を開催しており、依然として利用者から求められている施設である。
有効性	やや高い	受講者のニーズに応じた講座内容となるように心がけており、有効である。
効率性	高い	多くの講座を、格安の講師謝礼で実施しており、経費の削減に努めている。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

学び続けたい意欲のある方の育成・自主グループの活動も熱心に行われているが、受講生の固定化が見られるものもあり、新規の受講者を取り込む工夫が必要である。施設利用者の高齢化が進む中、施設の老朽化やバリアフリー等利便性の面で課題がある。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	新規の教室を開催する等、新規の受講者を取り組む工夫をした。 施設の改修又は開催場所の移転を検討する。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

633

事業名		文化芸術振興費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	文化芸術の振興		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
全市民

事業の目的と達成度

意図(対象をどのようにしたいか)
音楽や俳句関連の事業の実施、文化・スポーツ振興財団の自主事業の支援など、文化芸術を振興する。

事業の内容と活動量

手段(事業の内容・目的達成に向けた取組み)
・親子で楽しむ素晴らしい音楽の世界(親子コンサート)を開催した。
・俳句大会、俳句教室、音楽教室を開催した。
・学校文化施設開放事業を実施した。
・ブラスバンド部の定期演奏会の会場を手配した。
・滑川市音楽会等への開催費補助金を交付した。
・文化・スポーツ振興財団の自主事業への補助金を交付した。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
親子コンサートの観客数	人	目標	—	—	—	242	242
		実績	—	—	—	200	
根拠							
		目標					
		実績					
根拠							

活動指標(どの程度手段を実施したか)

指標名	単位		R3	R4	R5	R6	R7
周知回数(広報種類)	回	計画	—	—	—	6	6
		実績	—	—	—	5	
		計画					
		実績					
コスト(千円)			R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額					10,663	11,226	11,484
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源				10,663	11,226	11,484

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	やや高い	文化芸術に係わる市民を支援し、その成果を市民に提供する必要性は高い。
有効性	やや高い	文化芸術について多角的に支援している。
効率性	やや高い	広く気軽に参加できる行事が多く、市民の文化芸術に係わる機会も多い。

総合評価

評価基準	評価
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しの検討 D:事業の統合・休廃止の検討	B

事業の課題

市民の芸術文化の活動を支援していることを、より多くの市民に呼び掛ける。

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	「親子で楽しむ素晴らしい音楽の世界」は、翌日開催さる文化・スポーツ振興財団主催の「光のコンサート」と連携し、関係機関と周知に努めている。
新年度の予算要求事項(改革・改善案)	特になし。

総合計画実施計画 兼 行政評価シート（令和6年度事業）

634

事業名		なめりかわ未来学校事業費	担当部署			生涯学習・スポーツ課
政策体系	政策の柱	輝く滑川	予算科目	会計	01	一般会計
	政策基盤			款	10	教育費
	政策	青少年健全育成・地育地生の推進		項	04	社会教育費
				目	01	社会教育総務費
課組織目標						
根拠法令等						

事業の対象

誰・何に対して
市内の児童・生徒

事業の目的と達成度

意図（対象をどのようにしたいか）
市内の小中学生などを対象に、こどもたちの個性を伸ばし、社会参画意識を育む“学び”と“遊び”の場を提供する。

事業の内容と活動量

手段（事業の内容・目的達成に向けた取組み）
なめりかわ未来学校は、夏休みという、日常の学校教育から離れた環境のなかで、「このまちの未来を考える」という活動を通じて、社会の課題を見つけ、世代を超えた集団の中で共に議論し、自分たちの結論を導くという経験をする機会を提供した。
また、サマースクールに多くの方が関心を寄せていただくため、学校の1学期になめりかわ未来学校の趣旨に則したプレ企画を開催した。

成果指標（どの程度意図が達成されたか）

指標名		単位		R3	R4	R5	R6	R7
参加者数		人	目標	—	—	30	30	30
			実績	—	—	19	30	
根拠								
			目標					
			実績					
根拠								

活動指標（どの程度手段を実施したか）

指標名			単位		R3	R4	R5	R6	R7
プレ企画の回数	回	計画	—	—	3	3	3		
		実績	—	—	2	2			
		計画							
		実績							
コスト(千円)					R3	R4	R5	R6	R7
事業決算額・計画額								1,050	3,000
財源内訳	国県支出金								
	地方債								
	その他								1,500
	一般財源							1,050	1,500

個別評価

評価の視点	評価	評価理由
必要性	高い	なめりかわの未来を自発的に考えるこどもを育む必要がある。
有効性	高い	参加者・その保護者から、成長を感じると評価を得ている。
効率性	高い	協議会の構成員が実費のみで企画・運営を行っている。

総合評価

評価基準	評価
A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しの検討 D: 事業の統合・休廃止の検討	A

事業の課題

--

今後の方向性

成果の方向性	維持	投入コスト	維持
--------	----	-------	----

評価を踏まえた見直し内容

事業の課題に対する取組状況	
新年度の予算要求事項（改革・改善案）	特になし。

